

審 議 会 会 議 録

会議名称	第2回「第2次伊達すこやか親子21」策定委員会		
議 題	報告事項 (1) 第1回策定委員会後の経過について 議事 (1) 第2時伊達すこやか親子21（素案）について (2) パブリックコメントについて (3) 今後の策定委員会の開催について (4) その他		
開催日時	平成27年7月31日（金） 午後3時00分～午後4時20分		
場 所	保健センター 集団検診室		
出席者	出席者8名（欠席者2名）		
	所管部課名	市民部保健センター	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	0名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>会議次第により会議が進められ、会議の内容は次の通り</p> <p>1. 開会挨拶</p> <p>2. 報告事項</p> <p>(1) 第1回策定委員会後の経過について 【会議資料について事務局より説明】</p> <p>3. 議事</p> <p>(1) 第2次伊達すこやか親子21（素案）について 【会議資料について事務局より説明】</p> <p><質疑応答></p> <p>○委員：P12 思春期の評価指標については、市内の全校で取り組んだということなのか。モデル校というのとは何のモデルなのか。</p> <p>●事務局：マニュアルを作成し、伊達市内の中学、高校すべてで取り組んだという意味である。モデル校というのとは、計画策定時には1校を指定し、実施することをイメージしていたが、マニュアルが出来てスムーズに全校で実施することが出来た。</p> <p>○委員：その部分、もう少し言葉を足したほうがよいかなと思う。</p> <p>●事務局：言葉を足します。</p> <p>○委員：P8 就業している妊婦が多いこととマタニティ教室の参加率が横ばいということとはどう関係していると考えているか。就業している妊婦への知識の教育をどうしているのか。</p> <p>●事務局：マタニティ教室に参加されなかった方たちに対しては、資料を送付したり、電話で健康状態の確認や心配事への対応を行っている。第1課目は日曜日に開催し、参加しやすいように工夫している。平日の夜に実施することも検討したが、仕事をしている妊婦の参加者が増えるとは思われないため、現状の方法で行っている。</p>			

- 委員：子どもの食事で母親は何に困っているか、把握しているか。
- 事務局：幼児健診での栄養相談で出てくる母親の悩みで多いものは少食や遊び食いです。それらの原因としてはおやつとの与えすぎ、食事環境が整っていない場合が多い。
- 委員：おやつでおなかを満腹にすればいいと言っている子どもがいた。野菜が嫌いな子どももすごく多く、食べてみようとしな。赤ちゃんの時から食育はすごく大事だと思う。
- ◎委員長：昔は学校給食で残さず食べることを指導し、子どもは野菜を食べられるようになった。ところが、最近は嫌いなものは残していいと指導しているようだ。残さず食べるように指導すると、嫌いなものを無理やり食べさせたと親から苦情が来る場合もある。
- 委員：極端な話だと給食を残さず最後まで食べさせると虐待にあたるケースもあるので、難しい。
- 委員：給食の盛り付けは自分で行き、食べられる分だけ盛り付けるので、嫌いな食べ物が入っていると減らして盛り付けているようだ。
- ◎委員長：給食は子どもの必要なカロリーを計算されているので、みんな同じ量を食べてほしいと思う。
- 委員：給食は平等に与えてほしいと思う。家庭は個人差が大きく、すごく工夫しているお母さんもいれば、そうではない家庭もある。だから、給食を平等に食べれば、しっかりとした体ができると思うので、そこはがんばってほしいと思う。
- 委員：文科省からの指導では個人差をつけなさいと言われている。ますます拍車がかかるのではと思っている。
- 委員：体格に合わせてというのが今の指導方法となっている。
- 委員：子どもにまかせてしまうと、好きなものは多く、嫌いなものは少なくしてしまうので、違うと思う。
- 委員：思春期になると食生活が好きなものを好きな時に好きなだけ食べて、嫌なものは食べないとなりかねないので、食育って大事だと思う。
- 委員：子どもの生活につながってくることなので、しっかりやってもらいたい。
- 委員：自分の子どもには食べたくないものは食べなくていいよと言っている。ただ、風邪ひいたときに野菜を食べずにバランスの悪い食事だから風邪を引いたんだよと教えると子どもは自分で考え、野菜も体にいいからと食べるようになる。
- 委員：家でも野菜などを食べながらこの食べ物はお肌にいいとか教えると子どもも理解する。野菜の味も理解できるように、市販のものばかりではなく、1から料理することに興味を持ってほしい。
- ◎委員長：人参を嫌いな子に畑で人参を栽培させると自分が作った人参は食べます。
- 委員：いろんな視点から子どもにアプローチしていくといいのではないか。
- 委員：妊娠中はモチベーションを高くもてる時期なので、妊婦への取り組みを他機関などと連携してやっていただきたいと思う。
- 委員：ある町の健康づくり計画で住民用のスローガンを作っていた。「早寝早起きをしよう」とか「3食野菜を食べよう」とか子どもも大人も解りやすいものがあればいい。そして食改さんの活動や学校保健の中で活用すると広がりもてるのでは。野菜についてはこだわってほしい。野菜を好きな子を増やすことは、すごく市にとってインパクトも強いし、産業にもつながるし、すごくうりだなあと思う。2期目の計画の連携の中でそういう話し合いをしていければいいのでは。
- 委員：子どもは家にあるものしか食べられない。家に野菜がなければ食べられない。子どもが簡単に食べられ、簡単にできる（料理の）講座をお母さんたちに発信していかなければならないと感じる。
- 委員：そういう講座は保健センターでもやっているが、申し込んでくる人は興味を持っている人。そうではない人たちにどう興味を持ってもらうかが課題だと思う。
- 委員：意識が高かたばかりではないと思うので、そうではない人たちが危機的かなと思う。
- 委員：小学3年生に朝ご飯についての授業をしたときに、朝食何食べてきたと聞くと、パンだけとかシリアルとか、単品の子が多かった。家庭の中で主食と主菜、副菜を揃える習慣が落ちてきているなと最近特に感じる。
- ◎委員長：健康な体もそうだし、勉強ができるようになるのも、きちんとしたものを食べないと。子どもを持つ親に対しての啓蒙活動ということでしょうか。

○委員：計画の中で地域の中で子育てを支える体制づくりとなっているので、近所の年輩の方とか、教員免許を持っているけれど今はなにもやっていない人とか、自分の家で必要な時だけ一時預かり的な預かる方法とかはできないのかなど。これだと新しい施設を作るわけでもないし具体的にどうっていうのは難しいと思うが、そういうことができたらいいのになど漠然と思った。

◎委員長：シルバー人材センターで託児をやっているが？

○委員：人数が決まっていて断られることが多い。1日何人と決まっている。ちょっと預けるということができない場所がないと聞く。

○委員：すこやか親子21からはちょっと外れる話だと思うが、今の話は小1の壁といわれているもので、保育所は最大13時間保育することが出来るが、小学生になるとこのサービスがぴたっとなくなる。平成27年4月から家庭でお子さんを預かるサービスに公金が入ることになったので、これから増えるかもしれない。

●事務局：この計画には載らなくても、同じ子育て関係の計画である伊達市子ども子育て支援事業計画には施設関係のこととか載っているの、どこかで見直しをする時などで、今のよなことも含めて、ひろく、一緒に取り組んでいけるようなものにしていきたい。

◎委員長：全体をとおして何かございますか。

○委員：伊達すこやか親子21の計画が出来上がり、冊子になった際にはどのようなあつかいになりますか。コミュニティセンターにおくとか、広報におりこまれるとか、何部印刷されるとか、完成後のあつかいについてお聞きしたい。

●事務局：何部印刷するかまでは検討していなかったが、今言われたようにコミュニティセンターですとか、主要な施設に何部かおきたい、ホームページからダウンロードできるようにしたい、関係機関等にも配付をする考えでいる。

◎委員長：広報でも

●事務局：広報では周知はします。このような計画ができましたよと周知します。希望される場合は主要な施設にあるということと保健センターまでお問い合わせくださいと、そういうことになるかと思えます。

○委員：予算の問題もあると思うが、自分でホームページからダウンロードして読む、という人じゃない人でも見てもらえるといいかなと思いました。

それと、国のほうの健やか親子21の公式ホームページの中に地方計画として作った計画をアップする場所があるらしいので、うまくコラボして伊達市をPRできたらいいと思う。

●事務局：ありがとうございます。

◎委員長：素案の修正点の確認をお願いします。

●事務局：修正点はなかったと思います。食育に関するところでは意見をいただいたということで理解しております。情報発信していくことでこの取り組みの中にどんどん取り入れていきたいと思っています。

最後に出ました、預かり保育、一時保育のことについては、児童家庭課の計画があるので、そのなかでこのような取り組みができないだろうかということを提案しながらもっと子育てしやすい地域になるような計画にしていきたいなと思っています。今言ったようなことは文章に盛り込めることは盛り込んでプラスしていきたいと思っています。

(2) パブリックコメントについて

(3) 今後の策定委員会の開催について

●事務局：事務局で素案の修正を若干行い、計画案とする。その後、理事者協議、経営会議で検討。10月くらいにパブリックコメントを30日間実施。11月中旬くらいに第3回目の策定委員会。何もなければ3回目終了としたい。

(4) その他

・特になし